

科目名	農業と環境	単位数	3	学科・学年・学級	森林環境科 1年1組
学習の到達目標	1 体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 2 農業と環境に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 3 基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	教科書・副教材等			農業と環境 (実教出版)
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境の保全や農業生物の育成など環境と農業に関する基礎的な知識を身に付け、環境と人間生活の関係や農業生物の特性と栽培環境の関係を理解している。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>授業で使用するプリント</li> <li>レポート</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境や農業に関する課題を科学的にとらえて合理的に解決する実践的な能力を身に付ける。</li> <li>調査結果や栽培の観察・考察などを正確に表現している。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>発表の内容や仕方</li> <li>定期考査の論述問題</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境や農業に関する課題を科学的にとらえて合理的に解決しようとする実践的な態度を身に付ける。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>実習態度</li> <li>レポート</li> <li>発表の内容や仕方</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	1 環境と人間生活 (1) 森林、河川、耕地の生態系 ア 生態系のしくみ イ 森林の生態系 (2) 地球環境と人間生活 ア 森林機能 イ 環境と調和した農業 2 農業生物の育成 (1) イネの栽培と利用		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域環境の観察や統計資料及び地球環境に関する衛星情報や統計資料などによる具体的な事例を通して、生態系が人間社会に深く関わっていることを理解する。</li> <li>森林、農耕地、都市などの生態系の特徴を理解するとともに、これらの生態系が人間の生活や経済活動によってどのような影響を受けているか耕地や農村、都市の生態系とを対比して理解する。</li> <li>作物などの農業生物の生育過程などの基礎的な知識を習得し、農業生物の生理、生態的な特性と規則性について理解する。</li> </ul>		中間・期末
2 学 期	3 農業生物の育成 (1) イネの栽培と利用 (2) 緑化用草花の栽培と利用 4 環境の保全、創造 (1) 森林と環境保全 (2) 緑地と景観創造 ア 農村の環境整備 イ 河川の環境整備 ウ 都市環境の創造		<ul style="list-style-type: none"> <li>森林資源の管理方法、森林保護の方法などの学習を通して、森林の環境保全機能に関する基礎的な知識と技術を習得する。</li> <li>農村や水辺、都市の緑地による景観の維持と創造に関する知識と技術を習得し、農村の環境整備のあり方を考える。</li> <li>河川環境を理解し、自然に近い川づくりの考え方を理解する。</li> </ul>		中間・期末
3 学 期	5 環境学習と学校農業クラブ活動 (1) プロジェクト学習 (2) 学校農業クラブ活動		<ul style="list-style-type: none"> <li>「農業」におけるプロジェクト学習は、生徒自身が、課題設定、計画、実施、反省、評価することを理解する。</li> <li>教科「農業」の目標の達成を目指すとともに、科学性、社会性、指導性の育成を目標にしていることを理解する。</li> </ul>		学年末

科目名	総合実習	単位数	3	学科・学年・学級	森林環境科 1年1組
学習の到達目標	1 農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 2 農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 3 農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			教科書・副教材等	なし
評価					
観点	評価規準			方法	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業生物や林産物の育成、生産物の有効利用など、農林業に関する基礎的な知識を身に付けている。</li> <li>・各専攻分野における技能が身に付いている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表の内容や仕方</li> <li>・作業の精度</li> <li>・農業鑑定競技</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農林業の特性と農林産物の栽培管理方法について多面的に考察し、栽培方法や加工技術などの基礎的な知識・技術を活用した課題解決に向けての実践的な能力が身に付いている。</li> <li>・プロジェクト活動の記録や考察が正確に表現できている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習態度</li> <li>・実習記録簿</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農作物や林産物の育成から加工品の開発など、農林業を体系的に捉え、意欲的に取り組む態度を身に付けている。</li> <li>・班員と協力して作業を行うことができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習態度</li> <li>・プロジェクト活動</li> </ul>	
学習計画					
	学習内容		学習のねらい		考查
1学期	○園芸 1 夏野菜・草花の栽培 ○育林 1 さし木 2 苗畑管理 3 林地管理 ○林産加工 1 製造 ○農業クラブ活動 1 プロジェクト活動 2 意見発表 3 農業鑑定競技		<ul style="list-style-type: none"> <li>・栽培に必要な技術と作業内容の概要を学ぶ。</li> <li>・さし木の作業手順とさし木後の育苗について学習し、さし木用土と発根の関係について調査・観察を行う。</li> <li>・種子繁殖と栄養繁殖の違いについて学習する。</li> <li>・帯のこ盤の種類や構造について学習し、製材機械を安全に取り扱う知識・技術を身に付ける。</li> <li>・製材の際に出てくるおがくずの有効利用について学習する。</li> <li>・農業鑑定競技実施基準の中から、林業に関する実物鑑定を行う。</li> <li>・栽培・管理をとおしてプロジェクト活動を行う。</li> <li>・日頃の生活の中で関心を持った分野について自分の意見をまとめる。</li> </ul>		実施なし
2学期	○園芸 1 秋冬野菜・草花の栽培 ○育林 1 樹木生育調査 2 枝打ち ○林産加工 1 製造 2 キノコ栽培 ○農業クラブ活動 1 プロジェクト活動 2 意見発表		<ul style="list-style-type: none"> <li>・栽培に必要な技術と作業内容の概要を学習する。</li> <li>・地域の森林・林業の実態を学習し、森林管理の重要性と望ましい森林の姿を考察する。</li> <li>・スギ、ヒノキの枝打ち実習を行い、その目的と方法を学習する。</li> <li>・手押しかな盤を用いて、製材した面を平らに面削りする実習を行う。</li> <li>・キノコの主な栽培方法として、原木栽培及び菌床栽培を学習する。</li> <li>・栽培・管理をとおしてプロジェクト活動を行う。</li> <li>・日頃の生活の中で関心を持った分野について自分の意見をまとめる。</li> </ul>		実施なし
3学期	○園芸 1 圃場の土作り・整備 ○育林 1 農具の手入れ 2 苗畑管理 ○林産加工 1 木材の工作 ○農業クラブ活動 1 プロジェクト活動		<ul style="list-style-type: none"> <li>・農閑期における作業が次の管理の効率化に結び付くことを学習する。</li> <li>・木登り器を用いた枝打ち方法について学習し、刃物の使い方や研磨方法について学習する。</li> <li>・山出し苗の育苗と苗木の管理方法について学習する。</li> <li>・1・2学期に学習した製材及び加工の機械を活用し、木材工作を行う。</li> <li>・木工品の製作をとおして、間伐材を有効利用することの重要性を学習する。</li> <li>・栽培・管理をとおしてプロジェクト活動を行う。</li> </ul>		実施なし

科目名	森林科学	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 1年1組
学習の到達目標	1 森林の仕組みと機能を知り、地域ごとの自然環境に適した管理の知識を学ぶ。 2 森林生態系と材木の生育特性を理解するとともに、森林を統合的に利用できる力を身に付ける。 3 森林を保全、再生する場面で活用できる応用力を養う。	教科書・副教材等	森林科学（実教出版）		
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林の多面的機能や森林管理の意義や今日的な課題に関する知識を身に付け、育苗、造林、保育や伐採などの実習及び森林や林木などの調査を行う技能を身に付けている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>学習活動への取組</li> <li>ノート作成</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>育苗、造林、保育や伐採などの実習及び森林や林木などの調査、観察や実験など学習活動の成果を考察し、適切に表現できる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査の論述問題</li> <li>発表の内容や方法</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林や林業に関する課題を科学的にとらえて合理的に解決しようとする実践的な態度を身に付ける。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>レポート</li> <li>実習態度</li> <li>発表の内容や方法</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	1 森林の役割 ア 森林の多面的機能 イ 森林管理の意義	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林の機能は、多面的な機能をもつことが最大の特徴であり、いろいろな機能が複合的に発揮されることで、総合的に大きな効果が得られるものになることを学習する。</li> <li>森林のもつ多面的な機能を維持するためには、森林の健全性と活力の維持を図る森林管理が重要であることを学習し、我が国の森林の育成、保全、利用における課題について考える。</li> </ul>			中間・期末
2 学 期	2 森林の生態 ア 森林の生態と分布	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林生態系ごとの樹種別割合、植物・動物・菌類や微生物の相互関係及び水や炭素などの物質循環について学習する。</li> <li>我が国と世界の森林帯の分布及び森林の遷移について学び、森林植生の分布と緯度や標高に伴う気候の違いとの関係を理解する。</li> </ul>			中間・期末
3 学 期	イ 林木の生育と環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国で生産される有用林木を中心に、針葉樹と広葉樹の形状や幹の細胞組織など樹種の性状及び主な樹種の用途について学び、樹種の性状と用途との関係について理解する。</li> <li>林木の観察や調査などを通して、主な林木の形態や生育特性、林木の生育と環境要因が相互に関係していることを理解させる。</li> </ul>			学年末

科目名	総合実習	単位数	3	学科・学年・学級	森林環境科 2年1組
学習の到達目標	1 農林業の各分野についての実験・実習など、実際の、体験的な学習を通して、総合的な技術を習得し、経営と管理についての理解を深める。 2 農林業の経営や管理の改善に必要な管理能力や企画力、コミュニケーション能力など、実践的な能力と態度を育てる。 3 農林業の各分野における総合的な実習を通して、地域農林業の実態を理解する。	教科書 ・ 副教材 等	なし		
評価					
観点	評価規準			方法	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業生物や林産物の育成、生産物の有効利用など、農林業に関する基礎的な知識を身に付けている。</li> <li>各専攻分野における技能が身に付いている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>発表の内容や仕方</li> <li>作業の精度</li> <li>農業鑑定競技</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>農林業の特性と農林産物の栽培管理方法について多面的に考察し、栽培方法や加工技術などの基礎的な知識・技術を活用した課題解決に向けての実践的な能力が身に付いている。</li> <li>プロジェクト活動の記録や考察が正確に表現できている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>実習態度</li> <li>実習記録簿</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>農作物や林産物の育成から加工品の開発など、農林業を体系的に捉え、意欲的に取り組む態度を身に付けている。</li> <li>班員と協力して作業を行うことができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>実習態度</li> <li>プロジェクト活動</li> </ul>	
学習計画					
	学習内容	学習のねらい			考
1 学期	○園芸 1 野菜、草花の管理 2 収穫・調整・販売 ○育林 1 育苗 2 保育管理 ○林産加工 1 製材の実習Ⅰ ○農業クラブ活動 1 プロジェクト活動 2 意見発表 3 農業鑑定競技	<ul style="list-style-type: none"> <li>野菜、草花栽培に必要な作業内容の概要を学ぶ。</li> <li>ヒノキ苗の育苗に必要な床がえ作業を行い、その目的と方法について学習する。</li> <li>除草作業の目的を理解し、雑草との競合を避けることの重要性を学習する。</li> <li>下刈り作業を実施し、並行して行うつる切りの目的を理解する。</li> <li>板材の製材について、基本的な技術を習得する。</li> <li>桁目・板目の特徴について学習する。</li> <li>角材の製材について、基本的な技術を習得する。</li> <li>木材の性質を学び、有効な木材利用の基礎知識を学習する。</li> <li>農業鑑定競技実施基準の中から、林業に関する実物鑑定を行う。</li> <li>栽培・管理をとおしてプロジェクト活動を行う。</li> <li>日頃の生活の中で関心を持った分野について自分の意見をまとめる。</li> </ul>			実施なし
2 学期	○園芸 1 野菜、草花の管理 ○育林 1 保育管理 ○林産加工 1 製材の実習Ⅱ ○農業クラブ活動 1 プロジェクト活動 2 意見発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>野菜、草花栽培に必要な作業名と作業内容の概要を学習する。</li> <li>次年度の採穂と採穂圃の管理の関わりについて理解する。</li> <li>はしご及び木登り器を用いた枝打ちを実施し、枝打ちに関する知識・技術を身に付ける。</li> <li>剥皮など、特殊な木材加工を体験し、多種多様な木材加工技術と知識を学習する。</li> <li>実際に木材を加工しながら、木材の性質に関する知識や加工技術を身に付ける。</li> <li>栽培・管理をとおしてプロジェクト活動を行う。</li> <li>日頃の生活の中で関心を持った分野について自分の意見をまとめる。</li> </ul>			実施なし
3 学期	○園芸 1 圃場の整備 2 播種及び育苗管理 ○育林 1 農具の手入れ 2 温室管理 ○林産加工 1 キノコの人工栽培 ○農業クラブ活動 1 プロジェクト活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>圃場の整備を行い、作業の効率化の大切さを学ぶ。</li> <li>夏野菜の苗の育て方について学習する。</li> <li>カマの研磨やチェーンソの手入れ方法について学習する。</li> <li>さし木床の管理を行い、育苗に必要な知識を身に付ける。</li> <li>木材加工で発生するおがくずでのキノコ生産等、栽培をとおして資源の再利用について学習する。</li> <li>栽培・管理をとおしてプロジェクト活動を行う。</li> </ul>			実施なし

科目名	農業と情報	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 2年1組（選択）
学習の到達目標	<p>1 社会における情報化の進展、及び通信技術の向上に伴う新たな産業を知ると共に、その仕組みと利用・活用方法について理解する。</p> <p>2 パソコンにおいて、代表的なソフトウェアの基礎から応用までを学習し、農業に関する各分野でデータを分析・処理し、活用する能力を養う。</p>	教科書・副教材等		農業と情報（実教出版）	
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報関連用語を理解できる。</li> <li>・ハードウェア、ソフトウェアの操作技能がある。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の内容</li> <li>・定期考査</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報処理での最適な流れの思考、判断ができる。</li> <li>・ソフトウェアにおけるデータの特徴を生かした情報の計画が立てられる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題への取り組み</li> <li>・定期考査</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報機器への興味、関心がある。</li> <li>・コンピュータなどの技術進歩に関する興味、探究心がある。</li> <li>・ソフトウェア活用における技能向上への意欲、集中力、持続力がある。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習用具の準備</li> <li>・授業への取り組み</li> <li>・課題に取り組む姿勢</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	<p>1 私たちの生活と農業の情報化</p> <p>(1) 情報とメディア</p> <p>(2) 情報社会とモラル</p> <p>(3) 農業を支える情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報とはなにかを理解し、私たちの生活と情報のかかわりと、情報を活用した農業について学ぶ。</li> </ul>			期末
2 学 期	<p>2 コミュニケーションと情報デザイン</p> <p>(1) データの集計と視覚化</p> <p>(2) データベースシステムとオープンデータ</p> <p>(3) プレゼンテーション</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表計算ソフトのデータ入力、作表、グラフの作成という基本操作の復習と、応用的な関数について学ぶ。</li> <li>・多様なデータベースとその特徴、利用目的に応じたデータの収集などについて学ぶ。</li> <li>・文字、画像、音声などの情報を伝達する手段の一つとしてプレゼンテーションソフトウェアの使いかたについて学ぶ</li> </ul>			期末
3 学 期	<p>3 スマート農業への展望</p> <p>(1) スマート農業のめざす将来</p> <p>(2) リモートセンシングとGIS</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマート農業のしくみを理解するとともに、林業の現場で使用されているドローン測量簡単なシステムの設計を通して情報システムについて学ぶ。</li> </ul>			学年末
<p>【技能審査の成果の単位認定】</p> <p>・在学中に「全国商業高等学校協会主催情報ビジネス検定1級」または「全国商業高等学校協会主催情報処理検定1級（ビジネス部門）」を取得した場合は、申請すると技能審査の成果の単位認定が行われ、「農業情報処理」の単位数に2単位を加えることができる。</p>					

科目名	森林科学	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 2年1組
学習の到達目標	1 森林の仕組みと機能を知り、地域ごとの自然環境に適した管理の知識を学ぶ。 2 森林生態系と材木の生育特性を理解するとともに、森林を統合的に利用できる力を身に付ける。 3 森林を保全、再生する場面で活用できる応用力を養う。	教科書・副教材等		森林科学 (実教出版)	
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林の育成、保全と利用に必要な知識を身に付け、育苗、造林、森林保育の技術と森林生態系、林木の生育特性との関係を理解している。</li> <li>森林の育成、保全と利用について技術を身に付けている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>学習活動への取り組み</li> <li>定期考査</li> <li>技能テスト</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林の育成、保全と利用について多面的に考察し、育苗、造林、森林保育の実践方法を適切に判断するとともに、地域の森林づくりに提言を行える創造的、実践的能力を身に付けている。</li> <li>森林生態系、林木の生育特性について行った観察や考察を適切に表現している。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>レポート作成</li> <li>定期考査</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林の育成、保全と利用に関心を持ち、育苗、造林、森林保育を意欲的に実践しようとするとともに、森林生態系と林木の生育特性について科学的にとらえようとする実践的な態度を身に付けている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>用具の準備</li> <li>学習活動への取り組み</li> <li>ノート作成</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	1 森林と育林 2 育苗と造林 3 苗畑の管理 4 人工更新と天然更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林の役割について学び、わが国の森林育成、保全、利用における課題について学習する。</li> <li>森林造成のもとになる苗木の作り方と森林造成の基礎を学習する。</li> <li>実生苗やさし木苗の養成などの実験・実習を通して、苗木の生育と環境との関係について理解する。</li> <li>神光2号(ヒノキ)の、さし木苗の育成方法を学習する。</li> <li>苗畑の管理(床づくり、施肥、床がえ等)苗木の管理技術、器具の取り扱い方を学ぶ。</li> </ul>			中間・期末
2 学 期	5 主な林木の造林方法 6 林木の生育と環境 (1) 主な樹種の性状 (2) 林木の生育特性	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的樹種の生理、生態特性を学習し、それぞれに応じた造林方法を学ぶ。</li> <li>演習林などで実物の観察を行う。</li> <li>主な樹種の性状、樹木の識別への関心と能力、樹種特性を学習する。</li> <li>葉の形状、枝の付き方、樹皮、花、芽の状態から樹木を判断できるようにする。</li> <li>林木の生育特性に関する知識を学ぶ。</li> </ul>			中間・期末
3 学 期	(3) 林木の生育と環境因子	<ul style="list-style-type: none"> <li>林木の生育と環境要因が林木に与える影響に関する知識を学ぶ。</li> <li>寒冷地における林木の種類と生育状態を観察し、久万高原町の自然環境についての学習を行う。</li> </ul>			学年末

科目名	林産物利用	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 2年1組
学習の到達目標	1 林産物の加工、利用に必要な知識と技術を習得し、循環資源としての木材の在り方を考える。 2 林産物の特性を理解するとともに、林産物の多様な利用を図る能力と態度を育てる。	教科書 ・ 副教材 等	林産物利用（実教出版）		
評価規準					
観点	評価規準			方法	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>木材の用途と特性の関係について理解している。</li> <li>工作機械を安全に使用方法を理解している。</li> <li>正確な板取が行える。</li> <li>木材を正確に切断することができる。</li> <li>部品を正確に接合することができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>実習中の観察</li> <li>実技試験</li> <li>作品の評価</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>機器を正しく取り扱い、部品を正確に加工や組み立てすることができる。</li> <li>自分や他人に対して安全に実習を行うことができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>実習中の観察</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>林産製造の実習に対して、積極的に取り組むことができる。</li> <li>他と協力して、安全かつ確実に作業を行うことができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>出席状況</li> <li>実習への取り組みと姿勢</li> <li>ノートの点検</li> </ul>	
学習計画					
	学習内容	学習のねらい			考査
1 学 期	第1章 林産物利用の意義と動向 (1) 森林・林業と林産物利用 (2) 林産工業の現状と動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林や林業の現状を確認することにより、木材消費を伸ばすために木材加工の技術が必要であることを理解する。</li> </ul>			中間・期末
	第2章 木材の性質と用途 (1) 木材の用途 (2) 木材の構造と性質	<ul style="list-style-type: none"> <li>木材を利用した加工品を紹介し、その特性を生かすために必要な木材の性質を学び、有効な木材利用に関する基礎知識を身に付ける。</li> </ul>			
2 学 期	(3) 木材の加工 ア 木工器具の取り扱い ・さしがね ・ノコ ・ノミ イ 木工機器の取り扱い ・ルータ ・角のみ ・自動カンナ盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>木材を加工しながら、工作機器の使用法や木材の加工技術・加工方法について学習する。</li> <li>正確に採寸・切断を行う技術を身に付ける。</li> <li>採寸通りに木材を加工する技術を身に付ける。</li> </ul>			中間・期末
	(4) 作品のデザイン・設計 ア 作品のデザイン イ 設計図の作成 ウ 木取り図の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な木工作品を鑑賞し、オリジナルの作品を作成するための準備を行う。</li> <li>デザイン画の作成の仕方について学習する。</li> <li>設計図の書き方について学習する。</li> <li>設計図をもとに、木取り計画を学習する。</li> <li>作品の塗装効果について学習する。</li> </ul>			
3 学 期	第5章 特用林産物の生産と加工 (1) キノコの実産と加工 ア キノコの生態 イ 主なキノコの栽培 ウ キノコの加工	<ul style="list-style-type: none"> <li>キノコ栽培を通してキノコの特性に応じた培地の作成や栽培管理について学習する。</li> <li>適切な培地の作成、植菌を行う技術を身に付ける。</li> <li>加工を通して、成分の変化や食感の違いについて学習する。</li> </ul>			学年末
<b>【技能審査の成果の単位認定】</b> ・在学中に「危険物取扱者（乙種1類～6類）」を取得した場合は、申請すると技能審査の成果の単位認定が行われ、「林産物利用」の単位数に各1単位を加えることができる。					

科目名	生物活用	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 2年1組
学習の到達目標	1 緑のある環境・園芸や社会動物の特性と効用について理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 2 園芸作物の栽培と活用に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する能力を養う。		教科書・副教材等	生物活用 (実教出版)	
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>園芸作物に関する基礎的な知識を身に付け、栽培に生かすことができる。</li> <li>草花の特徴を生かして、フラワーデザインの基本技術を身に付けることができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>実習態度</li> <li>レポート</li> <li>ノート</li> <li>定期考査</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>栽培プロジェクトを通して、計画、実施、評価、反省ができています。</li> <li>野菜栽培を通して、地域の自然環境と地域農業について考えることができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>レポート</li> <li>プレゼン</li> <li>定期考査</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>園芸作物に興味・関心を持ち、学習活動への積極的な参加がなされている。</li> <li>実習内容や生育調査の記録を正確にできる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>実習態度</li> <li>発表の内容や仕方</li> <li>栽培記録プリント</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	1 草花の栽培と活用 (1) 草花の種類と特性 (2) 園芸デザイン (3) フラワーデザイン 2 野菜・ハーブの栽培と活用 (1) 夏野菜栽培プロジェクト ア 課題設定・栽培計画 イ 実施・評価・反省		<ul style="list-style-type: none"> <li>園芸作物の活用が果たしている社会的な役割を理解し、生物の活用に興味と関心を持てるよう学習する。</li> <li>夏野菜を栽培し、園芸活動に必要な知識と技術を身に付ける。</li> <li>1年時の経験をもとに、各班で栽培計画を立て、栽培プロジェクトを実施する。</li> <li>フラワーデザインの基本技術を身に付ける。</li> </ul>		中間・期末
2 学 期	(2) 秋冬野菜栽培プロジェクト ア 課題設定・栽培計画 イ 実施・評価・反省 (3) 野菜の加工・利用		<ul style="list-style-type: none"> <li>秋冬野菜を栽培し、園芸活動に必要な知識と技術を身に付ける。</li> <li>各班で栽培計画とその活用方法を立て、栽培プロジェクトを実施する。</li> <li>班別に生育の記録をまとめ、各班で行ったプロジェクトの結果から、良かった点、反省点を洗い出し、班同士で相互評価を行う。</li> <li>野菜の貯蔵・加工方法を理解し、その活用技術を身に付ける。</li> </ul>		中間・期末
3 学 期	3 動物の飼育と活用 (1) イヌの飼育と活用 (2) ネコの飼育と活用 4 生物を活用した療法 (1) 園芸療法 (2) 動物介在療法		<ul style="list-style-type: none"> <li>社会動物の飼育と活用について理解するとともに動物とのふれあいや飼育がもたらす心理的効果や身体的効果について考える。</li> <li>生物を活用した療法について学び、生徒自らが行える範囲の活動と専門的な療法との違いを理解できるようにする。</li> </ul>		学年末

科目名	課題研究	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組
学習の到達目標	1 実践的・体験的な学習をとおして、職業人として必要な資質・能力の育成を目指す。 2 設定した課題の解決策を探求し、科学的根拠に基づいて創造的に解決する力を養い、問題解決能力を自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	教科書 ・ 副教材 等	なし		
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農林業の諸問題に関心を持ち、その問題に対して解決していこうという意欲がある。</li> <li>・ 課題意識を持ち、計画に基づいて学習に取り組もうとする実践力がある。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業中の態度・発表</li> <li>・ 課題や記録簿のまとめ方</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題に対して適切な解決方法が選択できている。</li> <li>・ 課題解決に向けて自主的に努力し、活動の過程において創意工夫しながら取り組んでいる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題や記録簿のまとめ方</li> </ul>	
技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実験・実習に、安全に取り組んでいる。</li> <li>・ 課題を自分で解決し、助言を課題解決に生かすことができる。</li> <li>・ 学習内容を正確・丁寧に記録している。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提出作品</li> <li>・ 実習態度</li> <li>・ 発表方法</li> </ul>	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農林業の役割について理解し、農林業が抱えている問題について学習できている。</li> <li>・ 研究成果をまとめ、学習する喜びや満足感を感じとることができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ レポートのまとめ方</li> <li>・ 発表内容</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考 査
1 学 期	1 オリエンテーション 2 テーマ設定 3 プロジェクト学習の年間計画 4 学習活動Ⅰ (1) 各部門での学習 5 1学期のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題研究の学習内容や方法について理解する。</li> <li>・ プロジェクト学習のテーマについて考える。</li> <li>・ プロジェクト学習の年間計画を立案する。</li> <li>・ 自ら設定したテーマに沿って計画的に学習を進める。</li> <li>・ 1学期の学習内容をまとめ、自主的に学習しそれを継続する姿勢の大切さを確認する。</li> </ul>			実施なし
2 学 期	6 学習活動Ⅱ (1) プロジェクト学習 (2) データの記録・整理 7 2学期のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自ら設定したテーマに沿って計画的に学習を進める。</li> <li>・ 学習活動のまとめを行い、研究成果を発表できるようにまとめる。</li> <li>・ 比較調査や1、2学期のまとめを行い、研究成果をレポートにまとめる方法を理解する。</li> <li>・ 他の教科、科目で学習した知識・技術を関連づけ、学習の深化を図る。</li> </ul>			実施なし
3 学 期	8 発表準備 9 課題研究発表会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料のまとめ方や発表内容の構成を考える。</li> <li>・ 視聴覚機器の操作方法を理解させ、発表することにより学習内容の定着を図る。</li> <li>・ 課題解決により、達成感と自信を持ち、自己実現を図る能力と態度を育てる。</li> </ul>			実施なし

科目名	総合実習	単位数	3	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組
学習の到達目標	1 農林業の各分野についての実験・実習など、実際の、体験的な学習を通して、総合的な技術を習得し、経営と管理についての理解を深める。 2 農林業の経営や管理の改善に必要な管理能力や企画力、コミュニケーション能力など、実践的な能力と態度を育てる。 3 農林業の各分野における総合的な実習を通して、地域農林業の実態を理解する。	教科書・副教材等	なし		
評価					
観点	評価規準			方法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業生物の育成や農林業の社会的な役割など農林業と農林業の学習に興味・関心をもっている。</li> <li>農業生物の育成に関するプロジェクトを主体的に行い、栽培管理や作業体系を改善するなど実践的な態度を身に付けている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>授業への参加の仕方や態度</li> <li>レポート</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>農林業の特性と農林産物の栽培管理方法について多面的に考察し、栽培方法や加工技術などの基礎的な知識・技術を活用した課題解決に向けての実践的な能力が身に付いている。</li> <li>プロジェクト活動の記録や考察が正確に表現できている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>レポート</li> <li>発表の内容や仕方</li> </ul>	
技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業生物の育成や生産物の活用、測量技術の習得など農林業に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>レポート</li> <li>発表の内容や仕方</li> </ul>	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業生物や林産物の育成、生産物の有効利用など、農林業に関する基礎的な知識を身に付けている。</li> <li>農林業と人間生活の関係について理解している。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>レポート</li> <li>発表の内容や仕方</li> <li>定期考査</li> </ul>	
学習計画					
	学習内容	学習のねらい			考査
1学期	○園芸 1 野菜、草花の管理 2 収穫・調整・販売 ○育林 1 保育管理 ○林産加工 1 製材の実習Ⅲ ○農業クラブ活動 1 プロジェクト活動 2 意見発表 3 農業鑑定競技	<ul style="list-style-type: none"> <li>栽培に必要な作業内容の概要を学ぶ。</li> <li>夏野菜、草花に関する基本的な栽培技術を身に付ける。</li> <li>間伐の目的と方法について学習する。</li> <li>間伐木の有効利用の重要性を理解し、伐倒木の枝払を行う。</li> <li>丸加工で広がるデザインの可能性について学習する。</li> <li>丸棒で製作可能な木工品を製し、間伐材を使うことの意義について学習する。</li> <li>農業鑑定競技実施基準の中から、林業に関する実物鑑定を行う。</li> <li>栽培・管理をとおしてプロジェクト活動を行う。</li> <li>日頃の生活の中で関心を持った分野について自分の意見をまとめる。</li> </ul>			実施なし
2学期	○園芸 1 野菜、草花の管理 ○育林 1 樹木調査 2 保育管理 ○林産加工 1 製材の実習Ⅲ ○農業クラブ活動 1 プロジェクト活動 2 意見発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>栽培に必要な作業名と作業内容の概要を学習する。</li> <li>秋冬野菜に関する基本的な栽培技術を身に付ける。</li> <li>四国カルスト及び面河渓での樹木調査を実施し、森林の生態系について学習する。</li> <li>学校林、町有林の間伐を行い、伐倒・枝払い・集材や搬出演習を行う。</li> <li>丸棒を用いた木工品の木肌の美しさを表す方法について学習する。</li> <li>栽培・管理をとおしてプロジェクト活動を行う。</li> </ul>			実施なし
3学期	○園芸 1 圃場の整備 ○育林 1 刃物の手入れ 2 林地見学 ○林産加工 1 木材の工作 ○農業クラブ活動 1 プロジェクト活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>圃場の整備を農閑期にしておくことが今後の農作業の効率を向上させることにつながることを理解する。</li> <li>刃物の使い方や研磨方法について学習する。</li> <li>郡内の林地を視察し、久万林業の実態を理解する。</li> <li>木工品の商用について学習し、作品のマニュアルづくりを行う。</li> <li>栽培・管理をとおしてプロジェクト活動を行う。</li> </ul>			実施なし

科目名	植物バイオテクノロジー	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組(選択)
学習の到達目標	1 植物に関するバイオテクノロジーの知識と技術を習得し、農業の各分野でその技術を応用する能力と態度を育てる。 2 無菌播種や移植の実習などを通して、無菌操作の基本的な知識と技術を習得する。	教科書・副教材等	植物バイオテクノロジー (実教出版)		
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	・植物の無菌操作に関心をもち、無菌操作に必要な機器や使用方法に関する実験・実習に意欲的に取り組むとともに、無菌培養の環境と生育の関係を探究しようとする実践的な態度を身に付けている。			・学習用具の準備 ・学習活動への取組 ・ノート作成	
思考・判断・表現	・無菌操作に必要な機器や薬品の働きを多面的に考察し、殺菌効果について適切に判断するとともに、植物の無菌培養についての課題を合理的に解決する実践的な能力を身に付けている。 ・器具や培地の殺菌条件について正確に表現できる。			・レポート作成 ・定期考査	
技能	・無菌培養に関する基礎的な技術を身に付け、培養過程における無菌状態の確保を適切に実施することができる。			・発表の内容や仕方 ・レポート作成	
知識・理解	・無菌的条件の設定や、無菌培養に必要な基本操作及び機器と薬品の取り扱いに関する基礎的な知識を身に付け、培養の過程における無菌状態の確保の必要性を理解している。			・学習活動への取組 ・定期考査	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	1 植物組織培養の実際Ⅰ (1) 組織培養の目的 (2) 組織培養の施設と器具 (3) 器具と薬品類の取扱 (4) 培地の作成 (5) 組織培養の手順	・バイオテクノロジーという言葉の意味を理解し、その利用目的について理解する。 ・組織培養の施設と機器・器具の概要を理解し、機器・器具の取り扱い方を学習する。 ・器具や薬品の安全な取り扱い方を学習する。 ・試薬の計量を正確に行い、目的とする培地を作成できる知識や技能を身に付ける。			中間・ 期末
2 学 期	2 植物組織培養の実際Ⅱ (1) 無菌播種と培養 (2) 未熟種子の播種 (3) 完熟種子の播種 (4) ラン類の継代培養の手順 (5) ラン類の継代培養の実際	・ラン科植物を用いた無菌播種による大量増殖について学習し、植物バイオテクノロジーにおける目的を理解する。 ・ウチョウランの無菌播種を行い、未熟播種法における材料の調整方法や殺菌方法、播種の方法について学習する。 ・ラン類の継代培養を行い、分割・移植の手順を理解する。 ・培養中に発生するコンタミネーションについて学習し、無菌操作の重要性を理解する。 ・培養植物の成長を観察し、植物体がもつ分化全能性について学習する。			中間・ 期末
3 学 期	3 バイオマスエネルギーの利用	・光合成とバイオマスの関係を理解し、バイオマスが再生可能なエネルギーであることを学習する。 ・バイオマスエネルギーの変換利用によって、様々な分野に応用できることを理解する。			実施なし

科目名	森林科学	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組
学習の到達目標	1 森林の仕組みと機能を知り、地域ごとの自然環境に適した管理の知識を学ぶ。 2 森林生態系と材木の生育特性を理解するとともに、森林を統合的に利用できる力を身に付ける。 3 森林を保全、再生する場面で活用できる応用力を養う。	教科書・副教材等		森林科学（実教出版）	
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	・森林が有機生産や地球環境の保全において大きな役割を果たしていることを理解し、木材生産や国土・環境の保全などの、森林がもつ多面的な機能を総合的に利用する能力と態度が身に付いている。			・学習用具の準備 ・学習活動への取り組み ・ノート作成	
思考・判断・表現	・材木の育成と環境保全の関係など、世界や日本が直面している問題や今後の課題を多面的に捉え、考察できる。			・レポート作成 ・定期考査	
技能	・森林生産や森林の多面的な機能が、人間、生物、自然環境に相互に影響する役割を活用して、森林の継続的、総合的な利用について考察できる。			・発表の内容や仕方 ・レポート作成	
知識・理解	・森林が環境保全に果たす役割や現状、造材の特性や生育、森林を総合的に利用するための基礎的・基本的な知識を身に付けている。			・学習活動への取り組み ・定期考査	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	1 森林の保育と山地の保全 (1) 材木と林地の保育 (2) 森林の保護 (3) 治山	・材木の健全な育成を促し、速やかに目的の森林に導く方法とその成立基盤である山地の安定を図る方法について学習する。 ・材木と林地の保育について、基本的な考え方や作業の進め方について学ぶ。 ・人類共通の環境と資源として、同時に、個人の財産としての森林をどのように保護するかを考える。			中間・期末
2 学 期	(4) 林道 2 木材の利用 (1) 材木の伐採 (2) 造林と集材 (3) 木材の運搬 3. 森林の総合的利用	・自然環境に調和する林道について、計画から設計、施工、保守管理についてまで、幅広く学ぶ。 ・伐採について、調査、計画、方法、現在使われている高性能林業機械などを学び、どのようにして保護していくのかを考える。 ・高性能林業機械における、造材、集材の方法を学ぶ。 ・森林の多面的機能を具体的な事例で示し、それぞれをまとめて定着を図る。			中間・期末
3 学 期	4 持続可能な森林経営	・持続可能な森林基準を学習する。			実施なし

科目名	森林経営	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組
学習の到達目標	1 持続可能な森林経営について理解を深め、森林の計画や管理の在り方に関する基礎的な知識と技術を習得する。 2 森林の測定・森林機能の評価や森林経営情報の活用などの実践的な能力を身に付ける。	教科書・副教材等		森林経営（実教出版）	
評価					
観点	評価規準			方法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林経営に興味・関心を持ち、積極的な学習活動への参加がなされている。</li> <li>使用する道具等を正しく使っている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>学習活動への参加の仕方や態度</li> <li>ノート</li> <li>授業の中で使用するプリント</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林経営に必要な実践的な知識・技術が身に付いている。</li> <li>安全面も考慮し、的確な判断で活動できている。</li> <li>活動結果が正確にレポートに表現できている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>レポート</li> <li>授業の中で使用するプリント</li> <li>発表内容や仕方</li> <li>定期考査の論述問題</li> </ul>	
技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林経営に関する、基本的な技術が身に付いている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>レポート</li> <li>発表の内容や仕方</li> <li>定期考査の論述問題</li> </ul>	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林経営に関する知識を習得し、その技術を活かしていく方法を理解できている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>授業の中で使用するプリント</li> </ul>	
学習計画					
	学習内容	学習のねらい			考査
1学期	オリエンテーション 1 森林と森林経営 (1) わが国と世界の森林 (2) 森林経営の意義と役割 2 森林の機能 (1) 林産物生産機能 (2) 環境保全機能 (3) 保健休養機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林経営の授業内容や学習方法について理解する。</li> <li>日本と世界の森林資源や木材の需給状況、木材貿易の動向について理解する。</li> <li>森林経営の意義と役割について理解する。</li> <li>森林から林産物を生産することによってもたらされる機能について理解する。</li> <li>森林からもたらされる水源のかん養機能、国土や環境の保全機能について理解する。</li> <li>豊かな人間性の育成、生活の福祉と健康、森林環境教育などに役立つ機能について理解する。</li> </ul>			中間・期末
2学期	3 森林の測定と評価 (1) 森林の測定 (2) 森林の機能の評価 (3) リモートセンシングの利用 4 森林経営の計画 (1) 森林経営の目標 (2) 森林施業計画 (3) 森林空間の利用計画 5 森林経営の管理 (1) 森林経営の管理組織 (2) 森林施業と生産管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林の大きさの調査、直径・樹高・材積等の測定方法について理解する。</li> <li>森林の機能を調べるさまざまな方法を理解する。</li> <li>林産物生産機能の評価、森林の公益的機能の評価方法について学ぶ。</li> <li>空中写真・衛星リモートセンシングによる森林調査の方法について理解する。</li> <li>将来の森林経営の目標についての計画。</li> <li>生育調査や観察記録などの整理・まとめを行い、次学期の計画について理解する。</li> <li>比較調査や1・2学期のまとめを行い、レポートにまとめる方法を理解する。</li> </ul>			中間・期末
3学期	6 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>生育調査や測樹の結果をまとめる。</li> </ul>			実施なし

科目名	グリーンライフ	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組（選択）
学習の到達目標	1 農業と農山村の多面的機能と対人サービスの特性について学習する。 2 地域の自然や農山村の実態を学習し、環境分野への関心を高める。 3 農山村の生活向上および発展を図る力を育てる。	教科書・副教材等	グリーンライフ（実教出版）		
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業及び農村の多面的な役割に興味・関心を持ち、学習活動への積極的な参加をしている。</li> <li>農山村に目を向け、その特徴や問題点について関心を持っている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>学習活動への参加の仕方や態度</li> <li>授業で使用する資料の活用</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業及び農山村の持つ多面的機能を理解している。</li> <li>グリーンツーリズムをとおして、農村生活の向上を図ろうとする態度が身に付いている。</li> <li>実習や調査活動の記録や考察等が正確にされている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>レポート</li> <li>授業で使用するプリント</li> <li>定期考査</li> </ul>	
技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>農村に関する調査・研究や農業生物の育成に関する研究活動を行っている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>レポート</li> <li>定期考査</li> </ul>	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>グリーンツーリズムの意義や役割等を理解している。</li> <li>多様な地域資源の重要性を理解し、その活用方法について考えることができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>授業で使用するプリント</li> <li>定期考査</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	1 グリーンライフの世界 (1) ライフスタイルとグリーンライフ (2) 地域環境の再生・活性化とグリーンライフ (3) グリーンライフの学びの世界 2 市民農園	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ものの豊かさ」から「心の豊かさ」が重視される世の中に移行している現在、グリーンライフの持つ役割を理解する。</li> <li>地域資源を有効活用することにより地域再生を果たした実例などを学習し、都会にはない農山村の良さを確認する。</li> <li>市民農園の実態を把握し、都市と農村の交流について学ぶ。</li> </ul>			期末
2 学 期	3 観光農園、直売所 (1) 観光農園、直売所とその特徴 (2) 観光農園、直売所と農業・農村生活の向上 4 農業・農村の機能の発見と活用 (1) 自然環境と農業・農村の発見・活用 (2) 地域農産物の発見と栽培・加工 (3) 農村文化の発見と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の観光農園・直売所の実態を調査し、多様化する観光農園や直売所増加の背景について学び、地域産業の発展にどのように貢献できるかを考える。</li> <li>農業、農村の魅力を発見し、その活用方法について考える。</li> <li>地域で生産される農産物の現状を学び特産物とはどのようなものかを学習する。</li> <li>地域農産物の利用形態と加工品・加工方法を調査し、地域特産物について学習する。</li> <li>地域の伝統的な農産物を食文化の関わりについて学習する。</li> </ul>			期末
3 学 期	5 グリーンツーリズム (1) グリーンツーリズムの特徴 (2) グリーンツーリズムの取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>グリーンツーリズムの意義やあゆみについて学習し、その社会的・経済的効果について理解する。</li> <li>多種多様な地域資源を活用してのグリーンツーリズムが、農山村振興につながることを学習する。</li> </ul>			実施なし

科目名	木材デザイン	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組(選択)
学習の到達目標	1 目的にあったデザインを作成するためには、どのようなことを考慮しなければならないか考えられる。 2 美しさと機能を兼ね備えたデザインを考え、作品に仕上げることができる。		教科書 ・ 副教材等	・暮らしの図鑑 木のもの 楽しむ工夫×木工作家・ブランド27×基礎知識 (翔泳社)	
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インテリアに対する関心を深め、デザインを考案しようとする努力ができる。</li> <li>・他と協力して、安全かつ確実に作業を行うことができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況</li> <li>・実習への取り組み姿勢</li> <li>・ノートの点検</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や用途に合った完成像をイメージしながら計画を立てることができる。</li> <li>・安全に配慮して実習を行うことができる。</li> <li>・美しく色合いを表現することができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習中の観察</li> </ul>	
技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イメージに合った作品をバランスよく製作することができる。</li> <li>・木材を正確に切断、接合することができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習中の観察</li> <li>・実技試験</li> <li>・作品の評価</li> </ul>	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木材の特性を理解し、木材加工に取り組むことができる。</li> <li>・工作機械を安全に使用方法を理解している。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	1 木材の使い方 (1) 食べる・敷く・使う (2) 整える・飾る・身に付ける (3) 住む・香る (4) 触れる・遊ぶ・DIY	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活と木材との関わりについて学習する。</li> <li>・日常生活での木材の使用用途について学習する。</li> </ul>			期末
2 学 期	2 木にまつわる基礎知識 (1) 木工のきほん  3 NCルータによるプログラム (1) プログラムについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・樹種の概要について学習する。</li> <li>・木材の特徴や加工道具について学習する。</li> <li>・木材の特性を生かす塗装について学習する。</li> <li>・NCルータのプログラムについて理解する。</li> </ul>			期末
3 学 期	(2) 文字デザインの作成 (3) 操作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デザインをプログラム化し、機械への入力方法を理解する。</li> <li>・NCルータの操作方法を身に付ける。</li> </ul>			実施なし

科目名	森林野外活動	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組
学習の到達目標	<p>1 森林の多目的機能や総合的な利用を体験的に学習することにより、森林や環境に対する興味・関心を高める。</p> <p>2 登山に必要な基礎的な知識・技術を学び、自ら考え行動する力を育成する。</p>	教科書 ・ 副教材 等			<p>・石鎚山系 学びのフィールドミュージアム (愛媛新聞社)</p> <p>・ゆるっと始めるキャンプ読本 (KADOKAWA)</p>
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野外活動に興味・関心を持ち、積極的な学習活動への参加がなされている。</li> <li>・森林や林業に対する関心が高まる。</li> <li>・丁寧に提出物を作成し、提出する。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動への参加の仕方や態度</li> <li>・レポート</li> <li>・ノート</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野外活動に必要な実践的な知識・技術が身に付いている。</li> <li>・安全面も考慮し、的確な判断で活動できている。</li> <li>・活動結果が正確にレポートに表現できている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート</li> <li>・授業の中で使用するプリント</li> <li>・定期考査の論述問題</li> </ul>	
技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登山・野外活動に関する、基本的な技術が身に付いている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート</li> <li>・発表の内容や仕方</li> <li>・定期考査の論述問題</li> </ul>	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登山に関する知識を習得し、その技術を活かしていく方法を理解できている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・授業の中で使用するプリント</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	<p>1 キャンプ基礎 (1) キャンプ道具の使用方 法・選び方 (2) キャンプ道具メン テナンス (3) 料理方法</p> <p>2 登山の基礎 (1) 地図の見方 (2) 服装・荷物の詰め方 (3) 山の歩き方</p> <p>3 安全教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林観察・野外活動での注意点や事故・怪我への対処方法について理解する。</li> <li>・山歩きに必要不可欠な地図の見方について学ぶ。</li> <li>・疲れにくい歩き方や、体力の配分について学習する。</li> <li>・水分補給の必要性や必要に応じた水の取り方について学ぶ。また、即効性のある糖類を食べることの必要性と食べるタイミングについて学ぶ。</li> <li>・ごみ拾いを行いながら登山をし、マナーを身に付けたり、自然の大切さを体感する。</li> <li>・山間部等で遭遇する危険生物について学ぶ。</li> </ul>			期末
2 学 期	4 森林動物の観察	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林内の動物の生き方と特徴を学びながら自然保護のあり方についても考える。</li> <li>・森林に生息する動物の生態、分類、地質など森林に関する様々な知識を、多角的・総合的に身に付ける。</li> </ul>			期末
3 学 期	5 レポートのまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間の活動レポートをまとめる。</li> </ul>			実施なし

科目名	森林環境	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組（選択）
学習の到達目標	<p>1 放置されて荒れた人工林を再生し、森林環境を守るためにできる管理方法を学び、森林のためにできる技術を身に付ける。</p> <p>2 森林は、生物多様性の保全、土砂災害の防止、水源のかん養などの多面的機能を有しており、私たちの生活と深く関わっていることを理解する。</p>	教科書・副教材等		図解これならできる山づくり 人工林再生の新しいやり方 (農文協)	
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の森林環境に目を向け、その問題点について興味・関心がある。</li> <li>放置された人工林を、どのような森林にすればよいか関心がある。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>学習活動への取組</li> <li>ノート作成</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の森林の実態を多面的に考察できる。</li> <li>森林環境の課題解決に向けた実践的な能力が身に付いている。</li> <li>実習、調査活動後の記録や考察が正確に表現できる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>レポート作成</li> <li>定期考査</li> </ul>	
技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>人工林の再生のための間伐や枝打ちなどの方法が身に付いており、どのような管理をすればよいか理解できる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>管理の内容や仕方</li> <li>レポート作成</li> </ul>	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の森林と地域環境との関係について考察できる。</li> <li>悪化している森林環境の重要性を理解し、その改善策を考えることができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>学習活動への取組</li> <li>定期考査</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考 査
1 学 期	1 現状調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>演習林内の植生や環境を調査し、現状と課題が理解できる。</li> </ul>			期 末
	2 木の密度管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林の密度を調査し、適切な管理方法の知識と技術を身に付ける。</li> </ul>			
	3 選木	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林内の様々な状況を判断して残す木、切る木を選ぶ。</li> </ul>			
2 学 期	4 間伐	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全に十分留意し、選木に従い、森林の状況に応じた間伐作業を行う。</li> </ul>			期 末
	5 枝打ち	<ul style="list-style-type: none"> <li>間伐と同時に、残す木に対して、森林内の観察をしながら適切な枝打ちを行う。</li> </ul>			
	6 環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然環境の保全方法について学習する。</li> </ul>			
3 学 期	7 森林環境のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>一年間学んできたことをまとめ、私たちができる森林環境の保全について学習する。</li> </ul>			実 施 な し

科目名	林業と情報	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組(選択)
学習の到達目標	1 社会や企業における生産・販売・管理など様々な場面で活用されるシステムの利用・活用方法について理解する。 2 農業分野における情報の種類と内容を理解し、農業生産や農業経営に利用するための能力を養う。	教科書 ・ 副教材 等		自作教材	
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業情報システムに関心をもち、モデル化やシミュレーションなどに関する課題について探求しようとしている。</li> <li>農業学習に関心を持って、実践的な課題について考えることができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>実習状況の観察</li> <li>授業への取り組み</li> <li>データ収集</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>諸問題の解決を目指して思考を深め、合理的に判断することができる。</li> <li>基礎的な知識と技術をもとに合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>レポート</li> <li>定期考査</li> </ul>	
技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>モデル化やシミュレーションなどについて適切に選択して活用している。</li> <li>記録、整理、発信が適切にできる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>実技試験</li> <li>定期考査</li> </ul>	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>計測、制御や情報通信のしくみ、データベースによる情報の蓄積や管理の概念を理解している。</li> <li>情報発信の重要性を理解している。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>レポート</li> <li>定期考査</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	1 農業学習と情報活用 (1) 電卓検定の基礎 (2) 農業学習とプロジェクト学習 (3) プロジェクト発表と情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>資格取得に取り組みさせる。</li> <li>農業学習の特徴について理解させる。</li> <li>プロジェクト学習の進め方を理解させ、実際に取り組みさせる。</li> <li>プロジェクトの発表課程で情報活用能力を身に付けさせる。</li> </ul>			期末
2 学 期	2 情報システム (1) 情報システムの概要 (2) システム開発 (3) データベースシステム (4) 計測と制御 3 農業情報および森林・環境情報の活用 (1) 農業情報と伝達メディア (2) 農業の各分野における情報の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な情報システムの存在と役割について理解させる。</li> <li>情報システムが大きな社会基盤になっていることを理解させ、農業への応用について考えさせる。</li> <li>データベースを利用し、地域農業の変遷についての調査結果と農林統計情報を使い、地域農業の現況について考えさせる。</li> </ul>			期末
3 学 期	(3) 農業のシステム化 (4) 森林情報の活用 (5) 環境情報の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>栽培、販売、農業経営の各場面で必要な情報は何か理解させる。</li> <li>情報メディアの種類と農業農村でのメディアの役割を考えさせる。</li> <li>森林情報の種類と情報内容、活用技術について理解させる。</li> </ul>			実施なし
【技能審査の成果の単位認定】					
<ul style="list-style-type: none"> <li>在学中に「全国商業高等学校協会主催情報ビジネス検定1級」または「全国商業高等学校協会主催情報処理検定1級(ビジネス部門)」を取得した場合は、申請すると技能審査の成果の単位認定が行われ、「農業情報処理」の単位数に2単位を加えることができる。</li> </ul>					